

Sound One のご紹介

スマホで走りを記録する
(Sound One Recorder)

聴感マーケティングの新時代
グローバル市場を制する、サウンドベンチマーク

I. Sound One って何？

1. まずは会社のご紹介
2. お伝えしたい3つのサービス

II. Sound One 3つのサービス

1. スマホでデータ収集
2. AWSクラウドにデータベース構築
3. グローバルパネルによる聴感ベンチマーク

III. ソリューション展開

I. Sound One って何？ まずは会社のご紹介

会社名 株式会社 Sound One

所在地 神奈川県横浜市緑区白山1-16-1
(2024年4月15日~)

代表者 代表取締役社長 葛西 功

設立 2022年8月30日

事業内容 Web・スマホアプリケーション及びWebコンテンツの提供
※クラウドサービス【Sound One】の開発

資本金 9,000万円

株主 株式会社小野測器 100%出資

Sound One (2023~) および、ONO 音の主観評価技術 (2012~) の実績
業務委託：自動車（多数）、事務機器（プリンター）、精密機器（カメラ）、楽器（ドラム）、食品（天ぷら、菓子）、化粧品（容器）、ガス（バスユニット内）他
ライセンス：自動車、自動車部品、ロボット、楽器など製造業、大学他
論文発表：Inter-Noise, 音響学会、騒音制御工学会、自動車技術会で多数

【使用先】：タカギ・マジエスティゴルフ・積水化学・パイロット・ワコム・TDK・ロッテ・パナソニック・SONY・リンナイ・次世代音振基盤研究会(INVIE)・エンプラス・日本発条・各種大学(18機関)

【自動車関連使用先】：サンデン・デンソー・川崎重工・マツダ・トヨタ・本田技研工業・プライムアースEVエナジー・パナソニックオートモーティブズ・三菱自動車・スズキ自動車・ヤマハ発動機・ホンダアクセス(敬称略)



計測機器メーカーの（株）小野測器から
【音のクラウドビジネス】を立ち上げた企業です。

【小野測器グループ】



【横浜テクニカルセンター】



【音響棟】音のコンサルティング部門



【ベトナム にて
オフshore開発】



マイクロン開発部門
ソフト開発部門



【宇都宮事業所】



【オートモーティブテスティングラボ】



【ドライブトレイン試験室】 【環境対応シャシーダイナモ】

小野測器は自動車開発・実験装置、NV計測機器の製造メーカーです。

【株式会社Sound One】は、小野測器で長年培った音響技術とクラウド、ソフトウェア技術を集約して2023年より新規事業としてSound One事業を開始するために起業した企業ベンチャーです。

リンク先：<https://www.onosokki.co.jp/>

I. Sound One って何？ お伝えしたい3つのサービス



1. スマホでデータ収集



SOR



Sound One

Copyright ©Sound One CO., LTD. All Rights Reserved.

まずは、関係者でデータ共有

Webアプリ

PC、スマートフォン、タブレットでのデータ共有。音の波形やカーブ、映像や移動軌跡の抽出、評価結果の確認ができます。

ファイルの共有

音の編集 (Edit)

映像や移動軌跡の抽出 (トリミング)

分析 (1/3オクターブバンドレベル、ラウドネス)

聴感アンケート (Audio Test)

評価したい音と評価語を選んで、アンケートをメールやSNSを通じて多数のモニターへ配信できます。

回答結果の分析や、回答結果と1/3オクターブバンドレベル、ラウドネスとの相関関係を数値やグラフで視覚化できます。

詳しく見る >

2. AWSクラウドにデータベース構築 データ分析・共有



アカウント契約者間にて
解析プロセスの共有



3. グローバルパネルによる 聴感ベンチマーク &サウンドデザイン



- ・収録した音源を用いて聴感アンケートの実施
- ・聴感アンケートをプロジェクトごと共有
- ・仕向け先(国別)ごとの主観評価を実施

II. 1. スマホでデータ収集 :iPhoneでできること

【スマホ1台で、録音・解析・共有が完結】

- ①iPhoneにアプリ「Sound One Recorder」をインストールするだけで、高性能レコーダーに早変わり！
- ②高音質の非圧縮音声を録音可能
- ③録音データはその場でFFT解析
- ④スマホ内蔵センサやGPSとも連携
- ⑤クラウドで遠隔地とのデータ共有が可能

【注意】

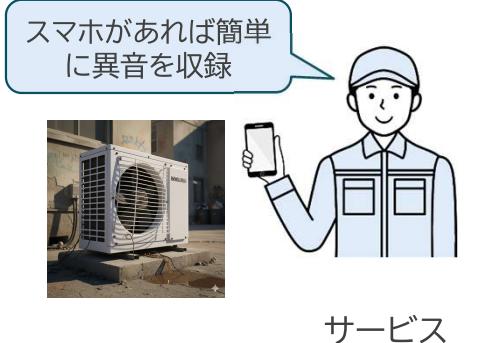
- ダッシュボード上にスマホホルダーを設置する場合
- 運転席前方に死角が生じないようご注意願います。
- また走行時の操作は大変危険です。 収録操作は停止時に
- 「Start Timer」「Auto Stop」機能をご利用願います。



II. 1. スマホでデータ収集：こんな経験ありませんか？

【設備機器】

- ①現場に突然発生する異音。でも、現場に計測機器がない。
- ②せっかく計測機器を準備したんだけど…、現象が再現せず…これで何回目の出張？
- ③ユニット交換で現場対応完了。引き取りにて原因究明したいんだけど…再現しない。



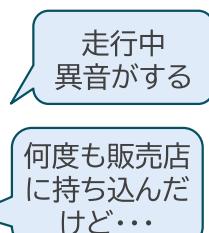
異音発生時に現場スタッフに異音収録だけでもお願いしたかったんだけど…

- ④計測機器で計測したデータをオフラインで分析。周辺環境の情報もあると嬉しい（映像・位置情報）

【モビリティ】

- ⑤車のオーナーさま 「何度も販売店に持ち込んでも再現しなくて…クレーマーみたいに思われたくないし」
- ⑥販売店（サービス拠点）さま 「実走行時の異音も確認したい…」

正常時の音と比較したい。

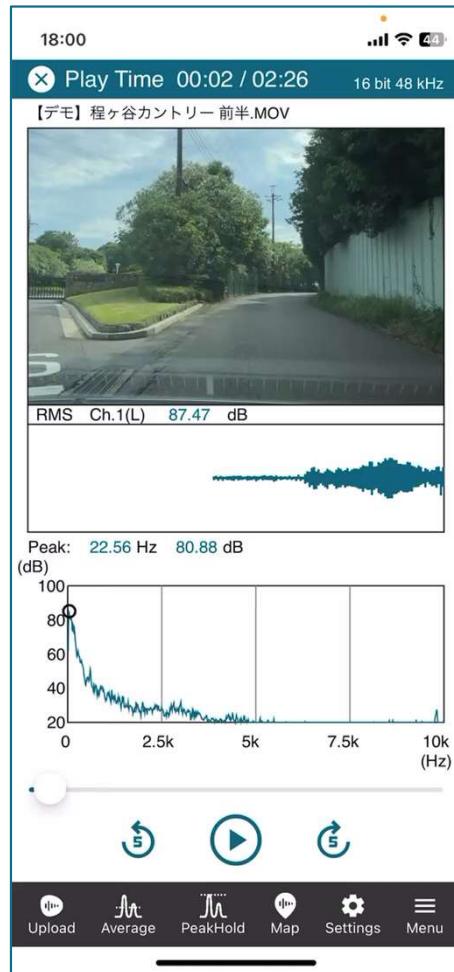


「異音が出たけど、記録できていなかった…」を解決します！



車のオーナー

II. 1. スマホでデータ収集 : Sound One Recoderの機能紹介



【基本機能】

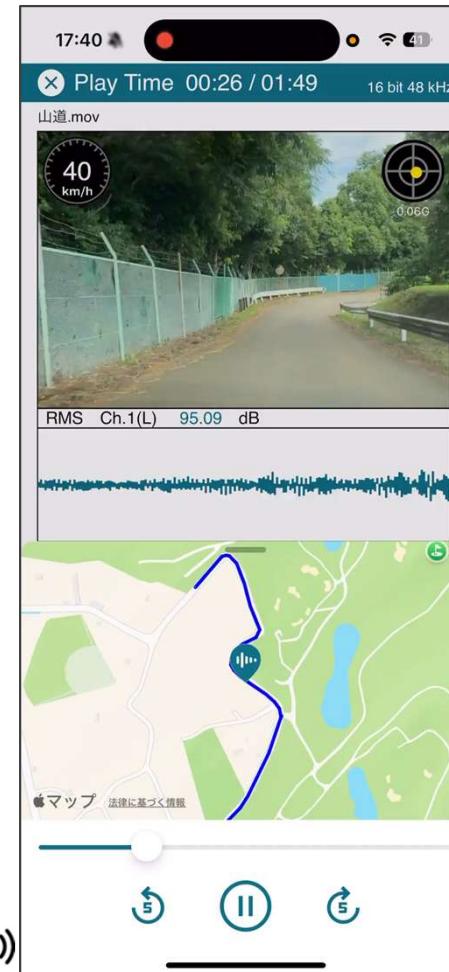
①手振れ補正・自動露出・
広角・ズーム撮影もOK

②非圧縮で音を記録
外部マイク対応

③ノイズキャンセリング
機能解除・固定レンジ

④FFT解析(サーチ機能)

⑤再生時
平均処理・ピークホールド



【モビリティ機能】

⑥Gフォース:走行中の加速度Gとその方向を表示

⑦走行中の速度を表示

⑧GPS走行軌跡を表示
(SIM装着AppleMap表示)

II. 1. スマホでデータ収集 : Sound One Recoderの機能アップ

【Ver. 6 新機能 (2026年2月予定)】

Ver.6 搭載候補

- ①メモ機能(音声入力対応)
- ②メモ機能 (収録映像からOCR読み取り
情報のコピー&ペースト)
- ③モビリティ機能(OBDリンク対応)

【OCR読み取り画面】

JET 水道法基準適合	
型式	HK-10 GH
水道法基準適合性能項目	耐圧性能 逆流防止性能 浸出性能
製造元	クリタック株式会社

新機能は予告なく変更される場合があります。

データベース化
便利機能

映像情報をOCR機能で読み取。テキスト化してクリップボードからコメント欄にペースト。

【Ver. 7 新機能 (2026年5月予定)】

リアルタイム イコライズ機能 (特徴抽出)



Sound One

音声入力でメモを記録(ファイル名・コメント欄の記入)
※手入力のわずらわしさから解放します。



II. 1. スマホでデータ収集 : Sound One Recoderの機能アップ

【Ver.6 新機能 (2026年2月予定)】

Ver.6 搭載候補

③モビリティ機能(OBDリンク対応)



OBDリンク2モジュール



Bluetooth



新機能は予告なく変更される場合があります。

【OBDデータを表示】

- ・エンジン回転速度
- ・スロットル開度
- ・クーラント温度
- ・ECU電圧
- ・空気流入量
- ・車速
- ・※※※※
- ・※※※※
- ・※※※※

・選択した項目を記録できます。

・Webアプリにアップロードして波形分析が可能となります。

(2026年5月予定)

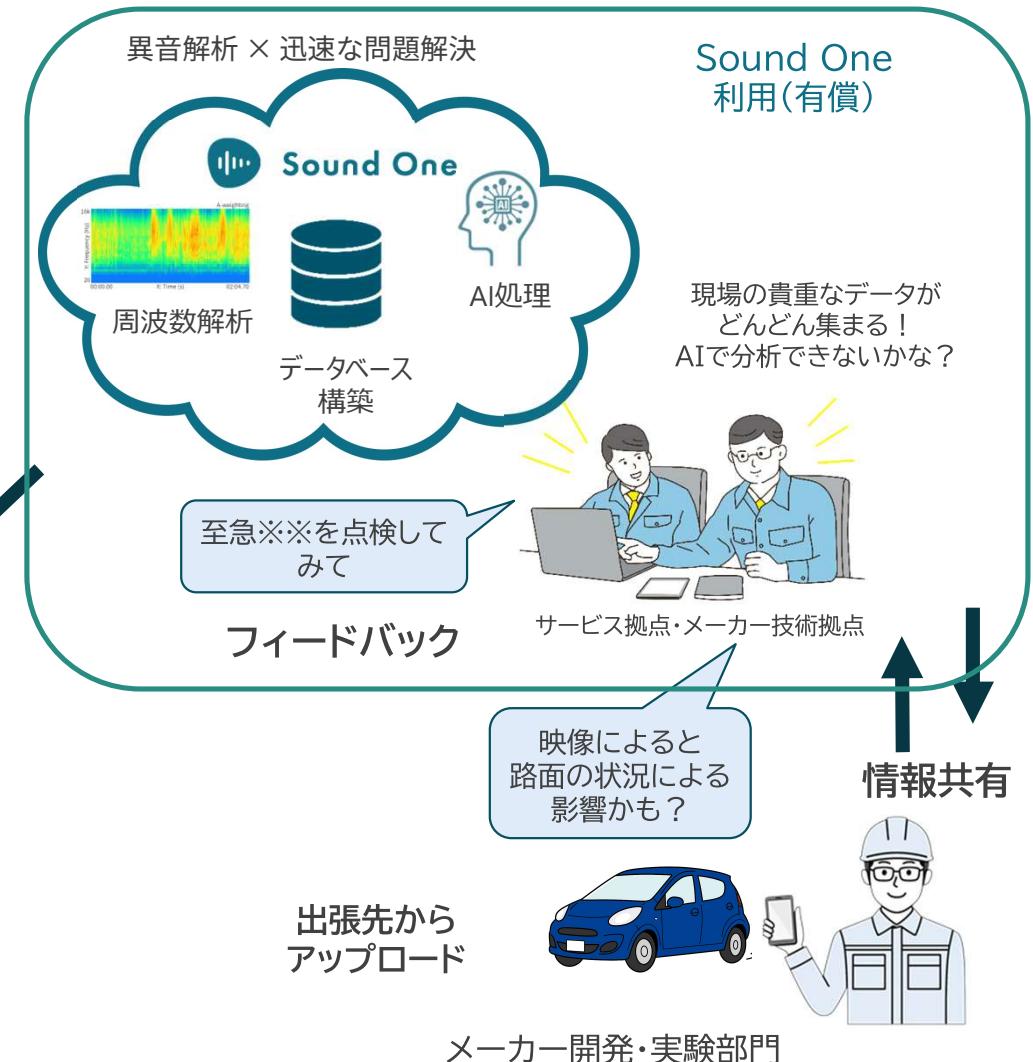
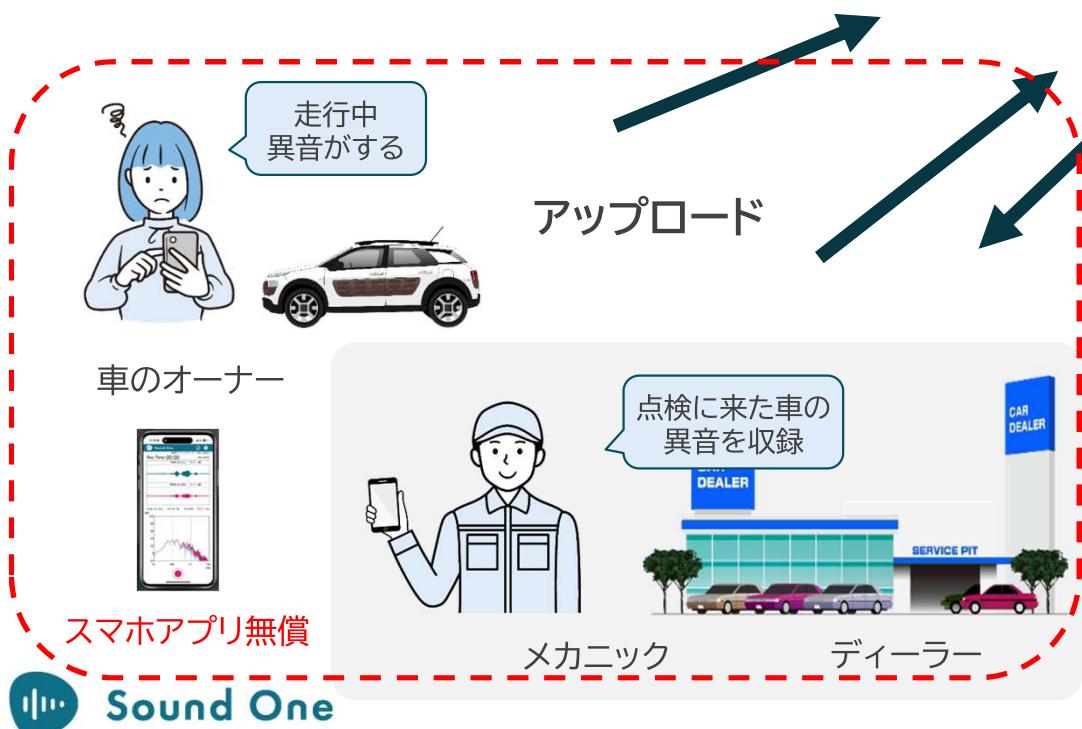


Sound One

II. 1. スマホでデータ収集：AWSクラウドにデータベース構築

【WebアプリSound Oneとの連携】

- ①SORからワンクリックで「Sound One」へアップロードが誰でも簡単に操作可能。
- ②WebアプリでFFT波形、音、GPS軌跡、映像を統合表示
- ③拠点間でデータをリアルタイムに共有し、即時対応が可能
- ④海外現場で収録→日本に帰国後にアップロードで活用



II. 2. AWSクラウドにデータベース構築 (Sound One Drive画面)

Webアプリ【Sound One】との連携：音・振動・映像・位置情報を統合したマルチモーダル解析ソリューション

全ての諸元「音・映像・Gフォース(3軸加速度)・GPS軌跡データ」を「1つのファイル(MOV)」として管理できます。

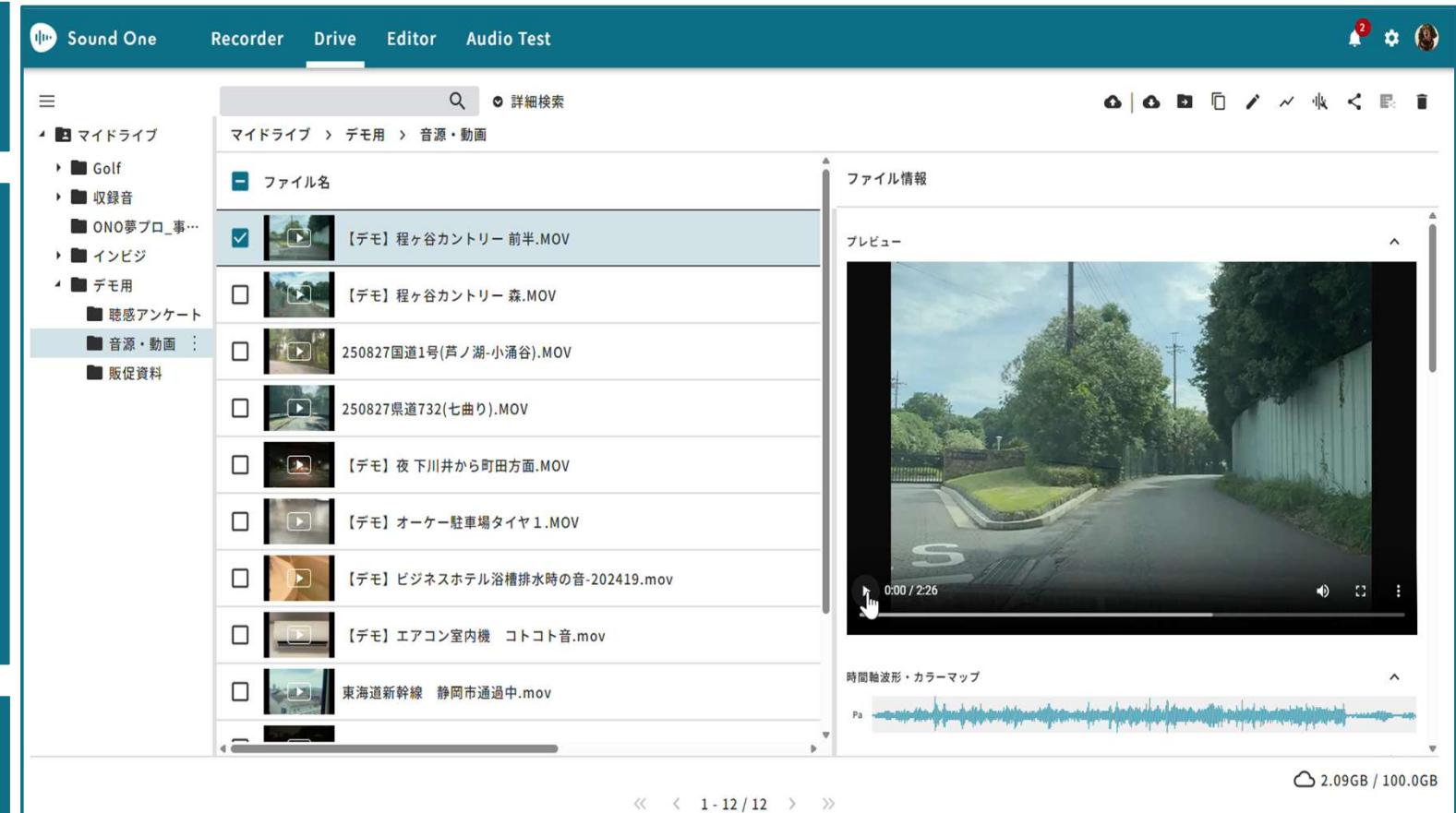
ファイルを選定によるサムネイル表画面では

- ・音・映像の再生
- ・音の時間軸波形とカラーマップ(データ全体)
- ・ファイル諸元
- ・記載コメント
- ・Google Map上での走行軌跡

などが簡単に確認できます。

※ストリートビューにより、収録した映像にはない周辺情報も確認できます。

Siound One アプリの使用には、
別途有償の利用契約が必要です。

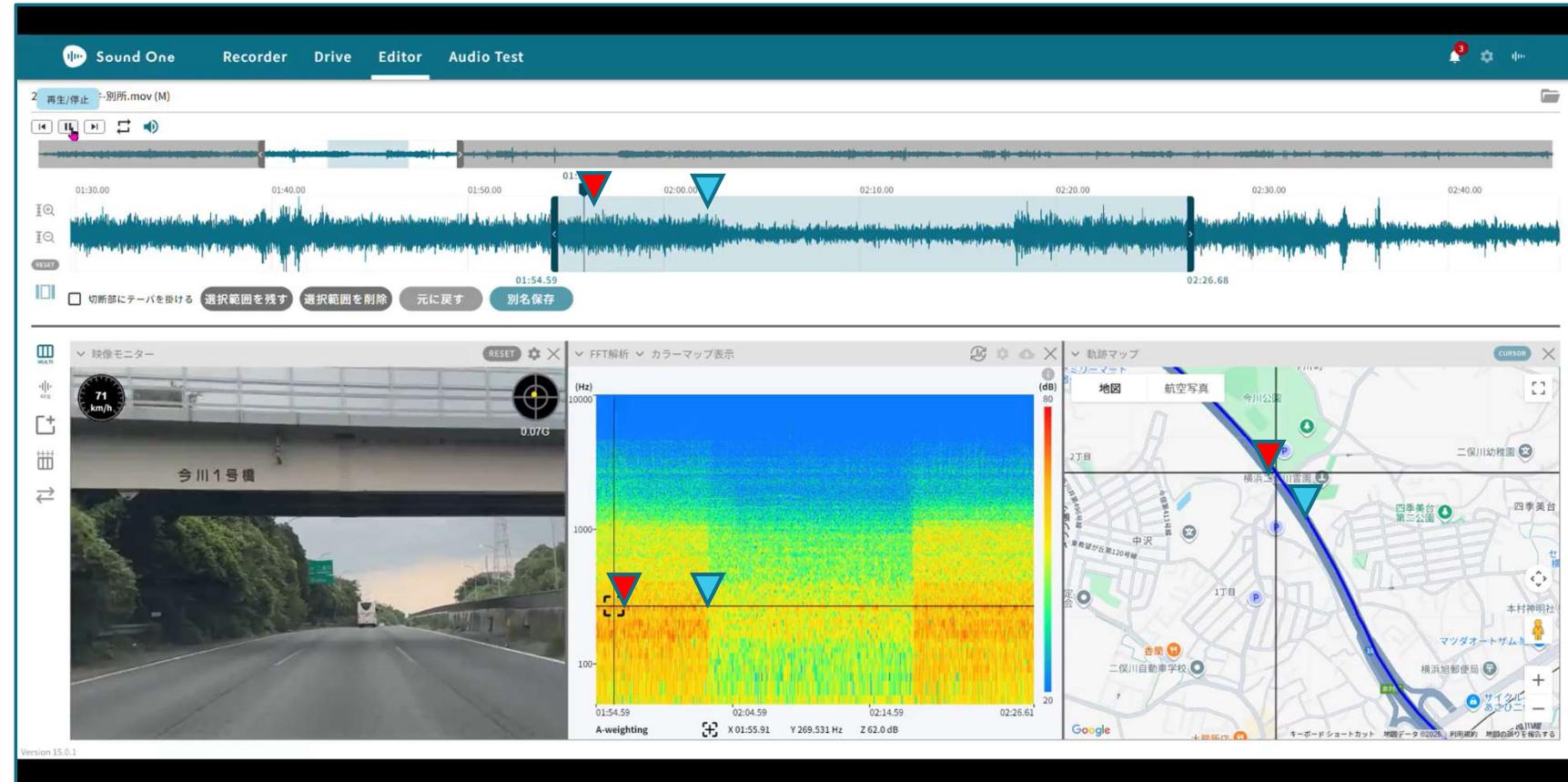


II. 2. AWSクラウドにデータベース構築 (Sound One Editor画面)

路面舗装の違いが
ロードノイズに！

- ①カラーマップで特徴を確認
- ②再生して聴感で確認
- ③動画で路面状態を確認
→舗装の違い(明暗)による
音のレベル差を聴感
- ④走行(車速・Gフォース)確認

▼路面が黒くて音が大きい
▼路面が綺麗で音が小さい
※ ▲▼マーキング機能は
未実装です。



映像で路面状況が確認できます
(段差の有り無し・高機能舗装有り無し)

FFTカラーマップを表示
音圧差を可視化

マップ上に走行軌跡と
カーソル時刻の位置を表示

II. 2. AWSクラウドにデータベース構築（バージョンアップ予定）

WEBアプリ Version.16の開発計画（2026/2月 リリース予定）

マルチタイムライン表示	走行音などの音データとあわせて、速度や加速度といった複数の時系列波形を同時に表示し、並べて比較できる新しい機能を開発します。時系列波形を格納する各トラックは自由に追加・削除・並べ替えが可能で、高さの調整やスケール設定も柔軟に行えます。さらに、時系列波形の項目をドラッグして他のトラックへ移動できるなど、高度な機能を開発します。
走行情報ファイル出力	Sound One Recorderで収録したデータファイルから、走行情報（緯度・経度・高度・速度・加速度XYZ・ピッチ・ロール・ヨー）を抽出し、CSV形式で出力します。出力したCSVファイルは、他のツールに取り込んで解析に活用できます。
その他の機能強化	<ul style="list-style-type: none">映像モニターの描画のレスポンスを高速化します1/3オクターブ解析と音質評価にスケール変更機能を追加します軌跡マップのサーチカーソルの表示を改善しますDrive、Audio Test Project Listの画面デザイン・操作性の改修します

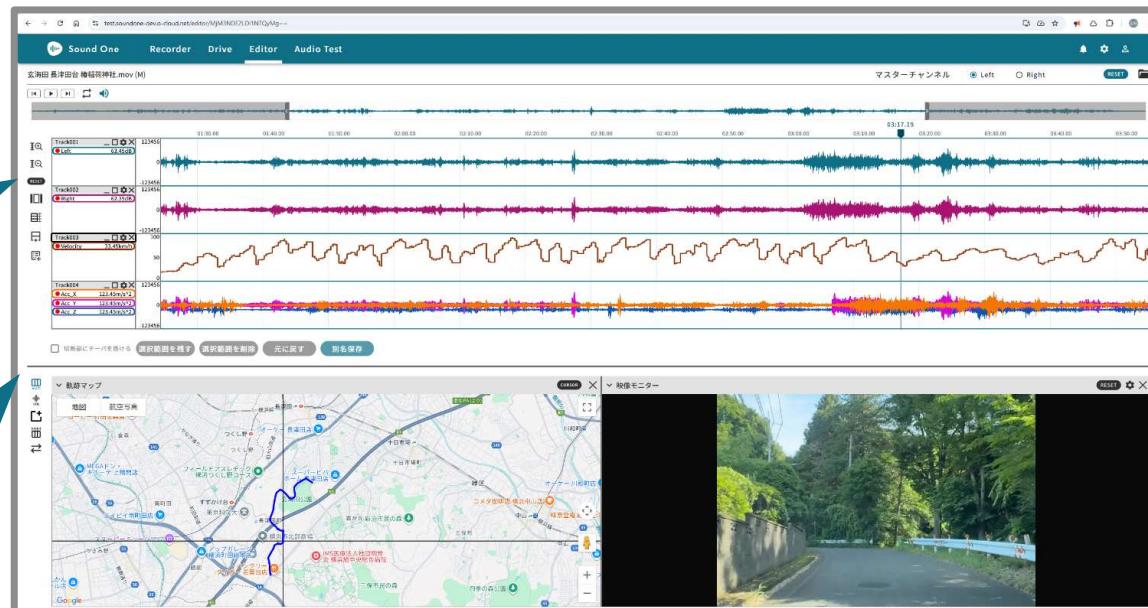
新機能は予告なく変更される場合があります。

音に加え、走行・位置情報の時系列波形を表示

- ・速度
 - ・加速度G(3軸)、
 - ・ピッチ、ロール、ヨー
 - ・緯度、経度、高度
- 【2026/2月予定】

同一トラック内に複数の波形を並び替えたり、重ね描きも可能。
数値や傾向がさらに比較しやすく！

【2026/2月予定】



CSV形式で出力可能
【2026/2月予定】

OBDデータを表示

- ・エンジン回転速度
 - ・スロットル開度
 - ・クーラント温度
 - ・燃料圧力
 - ・吸入管圧力
 - ・※※※
- 【2026年5月予定】

II. 2. AWSクラウドにデータベース構築（導入メリット）

出張コストを削減、スピード対応を実現

①スマホがあれば、即日導入可能（iPhoneにのみ対応）

Sound One Recorder は無償です。初期コストが掛かりません。

②スマホにインストールしておけば、突発的な状況にも対応可能です。

③現場の異音を「言葉ではなく音・映像で伝達」→伝聞による誤解を防げます。

④Sound One（クラウド契約）で遠隔地からのデータの共有が可能です。

⑤AWSクラウドにより企業間を越えてのシステム構築が簡単に実現できます。

→市場（カスタマー）・販売店・メーカー間での情報共有。

これからはAI活用の時代です。学習用データ収集にもSORを！

いざという時の為に海外出張のお供に



「Sound One（1年間）利用料金」と出張費の比較をしてみました

①お一人契約：Basic/150,000円 × 1（1ライセンス、1年間）= ¥ 150,000（税別）
②3人契約：Standard × 1（3ライセンス、1年間）= ¥450,000（税別）

VS

関東～関西間の出張（1人2日）
交通費・宿泊費・人件費で約15万円
→出張回数を1回削減できれば、経費削減にも効果大。

「現地スタッフに協力頂き、スマートフォンでデータ収録→アップロードしていただければ、
出張コストと対応時間の削減に大きく貢献できます！」

II. 3. グローバルパネルによる聴感ベンチマーク

グローバル市場を見据えた、聴感評価×サウンド生成・収録の統合ソリューション

■サービス概要

Sound Oneは、自動車サウンド開発におけるユーザー視点の聴感評価と、多様な音源調達手法を組み合わせたサービスを提供します。企画段階から市場投入後まで、定量・定性の両面から「音の機能的/意味的価値」を検証し、ブランドらしさと快適性を両立するサウンドづくりを支援します。

■ 主な用途(モビリティ系)

- ・EV加速音(電動化時代の新しい「走りの印象」づくり)
- ・AVAS(接近通報音)の聴感印象と文化適合性評価
- ・競合他社比較によるベンチマークとポジショニング分析
- ・グローバル市場における多様な聴取者属性の影響分析

■ 評価音源の選択肢

- ・Measured Sound : 既存車(自社/他社)の収録音※1
- ・Created Sound : クリエータによる音生成※2
- ・Simulated Sound : 収録音と1D-CAEの組合せ※3

※1 NV計測エキスパートによる収録、バイノーラル、アンビソニックなどセンサーにニーズに合わせ用意

※2 YouTubeなどで紹介されている各社製品音を耳コピーによって一からデジタル音源を生成

ロードノイズ、加速音、風切音などを分解、特性を編集し、組み合わせを変えて聴感評価が可能

※3 1D-CAEによるパラメータスタディ⇒フィルタ化⇒既存音重畠

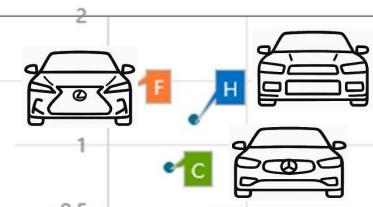


グローバルに聴感評価
回答者ご用意できます！



ラグジャリー
数百人の評価者の属性
(性別、年齢、地域、嗜好など)任意に設定可能

価格：音源ご支給
頂く場合は、100名
グローバルアンケート
¥230万～



動画を視聴して評価

スポーティ
伝統的

任意の2軸で評価



未来的

II. 3. グローバルパネルによる聴感ベンチマーク

【AVAS（接近通報音：定常音）】

		Total 98				
		心地よい	溶け込む	不快な	溶け込む	注意が向く
心地よい		3	5	4	1	
サウンドデザイナーが作成した音を編集①		5	12	4	3	
		2	7	15	7	1
※1		3	3	13	3	
不快な		1	2	1	3	
	Total 98					

		Total 98				
		心地よい	溶け込む	不快な	溶け込む	注意が向く
心地よい		1				
Standard		1	5		22	9
※2		1		3	12	25
不快な		1				
	Total 98					

		Total 98				
		心地よい	溶け込む	不快な	溶け込む	注意が向く
心地よい		8	5	2	1	
サウンドデザイナーが作成した音を編集②		9	26	7	8	1
		1	6	9	4	1
※1		2	3	2		
不快な		1		2		
	Total 98					

		Total 98				
		心地よい	溶け込む	不快な	溶け込む	注意が向く
心地よい		2	3	3	4	
※3		5	3	5	16	4
		1	2	4	15	5
不快な		3	3	4	5	6
	Total 98					

		Total 98				
		心地よい	溶け込む	不快な	溶け込む	注意が向く
心地よい		8	4	4	5	5
Brand		7	11	6	6	4
※2		5	2	8	10	
不快な		1		3	1	3
	Total 98					

		Total 98				
		心地よい	溶け込む	不快な	溶け込む	注意が向く
心地よい		1				1
※3		2		2	3	
		5	4	3	9	2
不快な		2	8	7	6	8
	Total 98					

		Total 98				
		心地よい	溶け込む	不快な	溶け込む	注意が向く
心地よい		11	5	2		
※3		8	15	4	3	
		10	16	7	1	1
不快な		1	5		3	1
	Total 98					

※1 サウンドデザイナーが作成した音を編集
※2 小野測器NVエンジニア収録音をクリエーターが一から生成

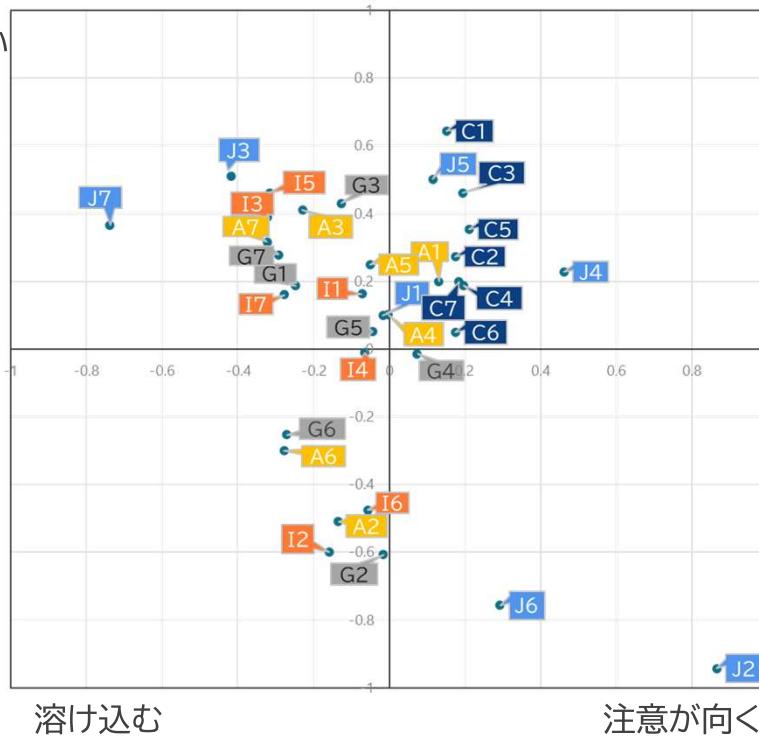
※3 YouTube音源をクリエーターが一から生成



II. 3. グローバルパネルによる聴感ベンチマーク(5か国比較)



心地よい

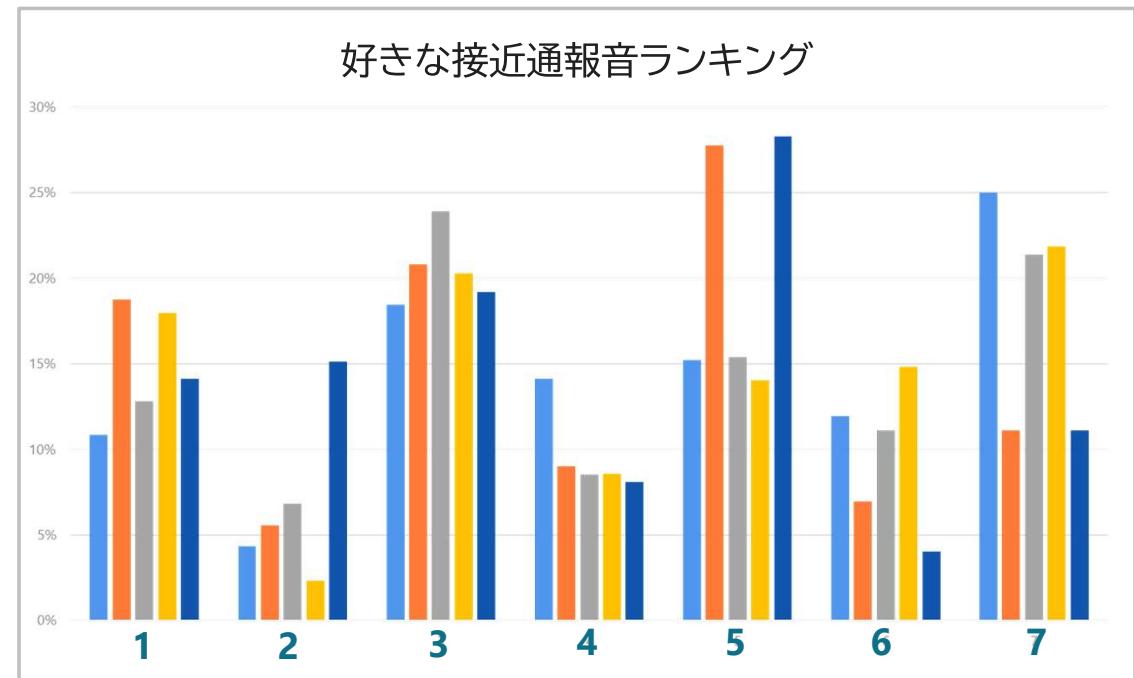


溶け込む

注意が向く

総計800名 各国100名以上のパネル(回答者)

好きな接近通報音ランキング



【ベンチマーク7車種】

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| 1. Design A※1 | 2. BYD STD※2 | 3. Design B※1 |
| 4. 日本車A※3 | 5. BYD BRD※2 | 6. Xiaomi※3 |
| | | 7. Renault※3 |

※1 サウンドデザイナーが作成した音を編集

※2 収録音をクリエーターが一から生成

※3 YouTube音源をクリエーターが一から生成



Sound One

III. ソリューション展開

Sound Oneは【プラットフォームとツール(レコードアプリ・分析アプリ)】を提供致します。

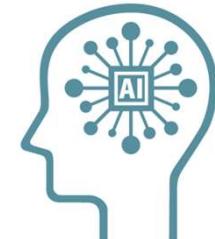
(1)音圧校正可能な
1/2インチ専用マイク



②SORを活用したデータ収集



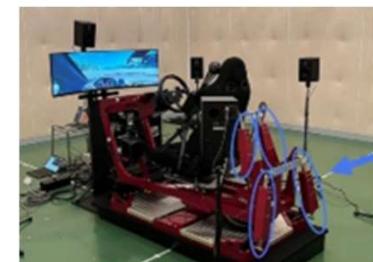
⑥AI学習用データ
ベースの構築



⑤ワークショップでの活用
※Well-Being(オフィス音環境)評価



④シミュレーターとの連携 ※実走行状態の再現



END

